

避難訓練振り返りレポート： 命を守る「おかしもち」と意識の変化

1～6年生（112名）を対象とした避難訓練の事後アンケート結果の分析。
基本的な避難行動の達成率は非常に高く、新しい合言葉の習得や高学年の意識向上
など、実践的な学びが得られた訓練であったことを示します。

訓練の達成率

放送・安全確保・
避難経路の理解

合言葉「お・か・し・
も・ち」の選守



対象学年：1年生～6年生 | 回答総数：112件

新合言葉「お・か・し・も・ち」の浸透



お:おさない



か:かけない



し:しゃべらない



も:もどらない



ち:ちかづかない
(新しい知識が定着)

実践的な学び

消火器の
操作方法を体感



煙対策でのハンカチ
の重要性を体感



高学年の意識変化

自分事としての自覚



6年生を中心に「命を守るための行動」
という意識が顕著に向上

今後の課題



ハンカチ携帯率の
向上：
日常的な携帯の
重要性を再認識



恐怖心への配慮と
精神的フォロー：
「備えれば大丈夫」とい
うポジティブな伝え方
で不安を解消する